

記入上の注意

1. 履歴書（様式1）

- (1) 「学歴」の欄には、高等学校卒業以降（高等学校卒業を含む）の学歴、学位、称号等に関する事項を記入すること。
- (2) 「職歴」の欄には、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記すること。
- (3) 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。
- (4) 「賞罰」の欄には、その有無を必ず明記すること。

2. 教育研究業績書（様式2）

- (1) この書類は、担当分野に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主な著書、学術論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）について作成すること。
- (2) 「教育上の能力に関する事項」欄について
 - ① 「1 教育方法の実践例」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・ 優れた教育方法の実践例（英語による授業、少人数教育、小テスト・レポートによる持続的教育、問題発見・課題解決型授業の実施等）
 - ・ マルチメディア機器を活用した授業方法（コンピュータ、ビデオ、スライド等の視聴覚教材を活用し理解を深める等の取組み）
 - ・ 学生の授業外における学習促進のための取組み（授業に関するアンケートの利用（講義、実習評価結果の活用）、シラバス等の工夫等）
 - ② 「2 作成した教科書、教材」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・ 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書等の概要や利用方法
 - ③ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・ 各大学等での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）
 - ・ 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
 - ・ 上記以外で学長、研究科長、同僚、諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記載）
- (3) 「職務上の実績に関する事項」の「3 その他の特記事項」欄には、次の項目を記入すること。
 - ・ 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての活動
 - ・ 学内委員会委員、学部内委員会委員としての活動
 - ・ 研究助成金（文部科学省科学研究費等）の採択実績
- (4) 「著書、学術論文等の名称」の欄には、著書、学術論文及びその他の順に、それぞれ年月順に、番号を付して記入すること。